

## 7. 重油のJIS規格 (K2205－1991抜粋)

### 重 油

重油の種類は、動粘度により1種(A重油)、2種(B重油)及び3種(C重油)の3種類に分類する。更に1種は硫黄分により1号及び2号に細分し、3種は動粘度により1号、2号及び3号に細分する。

また、品質は、内燃機関用、ボイラー用及び各種炉用などの燃料として適当な品質の鉱油であって、次の規定に適合しなければならない。

種類	性状		引火点 ℃	動粘度 (50℃) c S t (mm <sup>2</sup> /s)	流動点 ℃	残 留 炭 素 分 質 量 %	水 分 容 量 %	灰 分 質 量 %	硫黄分 質 量 %
	反 応								
1 種	1 号	中 性	60 以 上	20以下 (20以下)	(注) 5以下	4以下	0.3以下	0.05以下	0.5以下
	2 号	中 性	60 以 上	20以下 (20以下)	(注) 5以下	4以下	0.3以下	0.05以下	2.0以下
2 種		中 性	60 以 上	50以下 (50以下)	(注) 10以下	8以下	0.4以下	0.05以下	3.0以下
3 種	1 号	中 性	70 以 上	250以下 (250以下)	—	—	0.5以下	0.1以下	3.5以下
	2 号	中 性	70 以 上	400以下 (400以下)	—	—	0.6以下	0.1以下	—
	3 号	中 性	70 以 上	400を超え1000以下 (400を超え1000以下)	—	—	2.0以下	—	—

注)1種及び2種の寒候用のものの流動点は0℃以下とし、1種の暖候用の流動点は10℃以下とする。